

第二十五回帝國議會
衆議院

砂鑛法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治四十二年二月二十五日午後一時五十分開議

出席委員左ノ如シ

大井 卜新君	佐々木安五郎君	柏原 左源太君
世良 靜一君	根岸 峯太郎君	木村 格之輔君
丹尾 賴馬君	大西 五一郎君	豐増 龍太郎君
後藤 文一郎君	武滿 義雄君	

出席政府委員左ノ如シ
農商務省參事官 織田 一君 農商務省鑛山局長 磯部 正春君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

砂鑛法案

登錄稅法中改正法律案

○委員長(大井卜新君) 是カラ會議ヲ開キマス、モウ大抵質問モ盡キタヤウデスガ、併シマダ質問スルコトガアレバドウカ質問ヲ願ヒマス

○木村格之輔君 私ハ補缺ヲ參リマシテ、少シモ皆樣ノ御議論ヲ聞カヌノデスガ、正式ニ一點聽イテ置キタイ、此案ノ精神ハ砂鑛ヲ國有ト見タノデハナイヤウニ思ハレマスガ、果シテサウデアリマスカ

○政府委員(磯部正春君) 御説ノ通り國有ト見テ居ラヌノデ、今日マデ現行法デハ國有ト見テ居ラス、其主義ヲハリ襲踏シテ此案ガ出來テ居マス

○大西五一郎君 最早各員トモ質問モゴザイマセヌヤウデスカラ、追々議事ヲ進行サレテハ如何デス

○委員長(大井卜新君) 質問モ大抵終ッタヤウデスカラ是カラ討論ニ移リマス

○豐増龍次郎君 質問一條々々、ニナサイマスカ、或ハ全部ヲ……

○委員長(大井卜新君) 全部ヲ議題トシテ意見ノアルトコロダケ述ベルヤウニシテハ如何デス

○豐増龍次郎君 サウスルト意見ヲ出シテ差支アリマセヌカ

○委員長(大井卜新君) 差支アリマセヌ

○豐増龍次郎君 私ハ此第九條全部ヲ削除ノ意見ヲ提出致シマス、ソレハ本條ニ依テ見マスルト、此砂鑛出願人ハ其地所ハ他人ノ所有ニ係ッテ居ッタ時分ハ、地所ノ所有者ノ承諾ヲ受ケテバナラヌト云フコトデアル、サウシテ此二項ハ「土地所有者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛區ノ出願ヲ爲ストキノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス」斯ウ云フコトニナッテ居ルガ、此條項ハ元來此砂鑛權ヲ此現行法ノ砂鑛採取料ナルモノト違テ、全ク一種ノ特權ト認メマシテ、サウシテ之ヲ法律デ保護シヤウト云フ趣旨ニ背キマスノミナラズ、本條ト云フモノハ實際上非常ナ不便ヲ此砂鑛出願人ニ與ヘルモノデアル、サウシテ同時ニ此砂鑛業ノ發達ト云フモノヲ妨ゲルモノデアリマス、ト申

シマスノハ申ス迄モナク砂鑛區ノ出願ヲ致シマスル際ハ、免モ角砂鑛事業ト云フ大事業ヲ經營シナケレバナラヌデアリマスカラ、其處ニ一段歩二段歩ト云フヤウナ僅カナ地所ノ區域デハ出願モ出來ナケレバ又此事業ノ目的モ達シナイ、必ズヤ數町步數十町步、若クハ數百町步ニ互ル區域デ出願シナケレバナラヌ、サウシマスル其地所ノ内ニハ數人、數百人若クハ千以上ノ地所ノ所有者ヲ包含スルコトモ出來マス、マア往々ノ例デアリマス、此等ノ人々ニ對シマシテ一町步若クハ二町步ト云フヤウナ僅カ小サイ段別ヲ有スル別デアルガ、一段歩、二段歩若クハ一畝、二畝ト云フヤウナ極小サイ段別ヲ有スルニ過ギナイト云フ所有者モ、往々此本條ノ「承諾ヲ要スル」ト云フヤウナコトニナリマスレバ、折角ノ砂鑛出願者ノ砂鑛發見ト云フモノモ殆ド法律上何等ノ保護モ受ケナイ、又此微々タル土地ノ所有者ノ爲ニ此出願ヲ妨ゲラレテ目的ヲ達スルコトガ出來ズ、又延デ其所有者ノ承諾ヲ受ケヤウトスルニハ非常ニ法外ナ利益ヲ貪ラレル、ソレニ服從シナケレバ此承諾ヲ求メルコトガ出來ナイ、ソレデモ是非ヤルニハヤハリ所有者ハ實際自分ニ採掘スル意思ガ無クテモ、權利ヲ振廻ハシテ一畝步、二畝步若クハ一段、二段ト云フヤウナ僅カナ地所ノ上ニ出願シテシマフト云フヤウナコトニナリマスルト、數町若クハ數百町步ニ互ッタ大事業ヲ經營シヤウト云フ際ニ、微々タル地主ノ惡意ノ妨害ノタメニ、遂ニ此事業ヲ完成スルコトガ出來ナイト云フヤウナ不幸ニ遭遇スル、是ハ實際上非常ニ不便ガアルノミナラズ若シ本條ニ依テ地所ノ所有者ノ所有權ヲソレ迄ニ保護シナケレバナラヌト云フナラバ、獨リ是ハ地所ノ所有者ニ限ッタコトデハナイノゴザイマセウ、即チ此第十二條ニゴザイマスル所ノ地所ノ所有者以外、例ヘバ地上權者、永小作權者又ハ土地ニ對シテ使用ノ權利ヲ有スル者ト云フヤウナ、此等ノ者ニモヤハリソレ相當ノ保護ヲ與ヘテ承諾ヲ受ケルト云フヤウナコトニシナケレバ、所謂立法ノ主意ヲ貫クコトガ出來ナイ、然ルニ本條ハ此等ノ人ハ皆除イテアッテ、唯所有者デケラ保護スルコトニナッテ居リマス、是モ即チ本條ヲ規定シタ趣意ニ背ク、詰リ不公平ナ結果ヲ生ズル、即チ規定シタ趣意ガ不公平ナコトニナッテシマフノデアリマス、サウ云フヤウナ不便モアリマスカラ、旁々本條ハドウシテモ削除スル方ガ穩當デアラウト思ヒマス、ノミナラズ此第二項ノ「土地ノ所有者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛權ノ出願ヲ爲ストキノ外云々」斯ウ云フ條項ヲ突然規定サレテアリマスケレドモ、是ハ本案デケラ見テハ何ニ當ルカ一向其理由ヲ知ルニ困ムデアアル、土地ノ所有者ハ如何ナル場合ニドウ云フ命令ヲ受ケルカト云フコトガ少シモ分リマセヌ、是ハ想フニ現行砂鑛採取法ノ施行細則二條、二條ノ如キ規定ヲ別ニ——マア本法ノ細則トシテモ設ケルト云フ御趣意カラ斯ウ云フ規定ニナッテ居ルカト考ヘマスガ、免モ角モ本法デケラ如何ナル場合ニ何人カドウ云フ命令ヲ受ケル、サウシテ其期間ト云フモノハドウ云フヤウニナル、サウシテ其結果ヲ砂鑛出願人ノ權利ガドウ云フヤウニ保護セラル、ト云フコトノ具體的ノ解釋ガ出來ナイ、是デハ分ラナイ、サウスルトツマリ本條ハ第二項以外ニ之ニ相當スルヤウナ何カ別途ノ規定ヲ要スルト云フヤウナ面倒モ起ッテ來ル、其規定モツマリ缺乏シテ居ル譯デアル、之ヲ要シマスルニ本

條ハ砂鑛權ヲ物件トシテ、特ニ保護セントシタル、法律ノ趣意ニ背クノミナラズ、若シ完全ニ此等ノ地所ノ所有ニ關係アル者ヲ保護シヤウトスルナラバ、獨リ所有者ノミナラズ即チ地上權者、永小作權者、又ハ土地ニ對シテ使用ノ權利ヲ有スル者等モ既ニ保護シナケレバテラヌニ拘ラズ、此等ガ缺乏シテ居ル不公平ナコトニナツテ居リマスノミナラズ、元來此第二項ノ規定ナルモノハ是ダケヲ以テハ其趣意ヲ解スルニ困ムヤウナ工合デ、ツマリ此第二項アルガ爲メニモウ一ツ別ノ規定ヲ要スルコト云フ面倒モアリマス、旁々本條ハ全然除ケニスル方ガ穩當ナル、即チ削除スルガ穩當ナルト深ク信ジマス、尙附加ヘテ一言致シテ置キマスガ、此條項ヲ除イタナラバ、土地ノ所有者ノ所有權ニ對スル保護ト云フモノガ、非常ニ不確實ニナツテ砂鑛ノ發見者ノ優遇セラレテ、地所ノ所有者ハ非常ニ冷酷ナ待遇ヲ受ケルコトニナリハセヌカト云フ御議論モゴザイマセウガ、ソレハツマリ第十二條ニ於テ地所ノ所有者、地上權者、其他ニ對シテハ砂鑛業ノ行使ニ依テ毫モ損害ヲ受ケナイ、即チ一切ノ損害ヲ償ハセルト云フ條項ガゴザイマスカラ、所有者ノ權利其他ノ者ノ權利ト云フモノハ、十分ノ保護ヲシテアル、決シテ本條ガ無クテモ差支ナイノデアル、況ヤ政府委員ノ御説明デハ本法ニ依テモ未ダ探掘セザルトコロノ砂鑛ハ、ヤハリ土地ノ所有者ニ屬シテ居ルト斯ウ云フヤウニ御答ニナリマスガ、是ハツマリ本法全體ヲ通覽致シマスルト、決シテ本法ノ眞實ノ精神デハアルマイト思ヒマス、ト云フモノハ砂鑛權ト云フモノハ現在ノ砂鑛採取法ト違フテ、前申上ゲマス通り一種ノ物件トシテ特別ノ保護ヲ與ヘラレルト云フコトニナツテ居リマスノミナラズ、若シ此砂鑛其モノガ土地所有者ノ所有權ノ一部デアツテ、國家ニ其權利ガナイモノゴト致シマスルト云フト、詰リ國家ハ自分ノ有セザル權利ヲ他人ニ與ヘルト云フコトニナル、即チ權利ノ基礎ガ無クナツテシマウ、從ツテ國家ガ他人ノ地所ニモ拘ラズ、其砂鑛ノ出願ヲシタモノニ探掘權ヲ與ヘ、サウシテ之ヲ一種ノ物件トシテ保護スル、所有者デアツテモ尙異議ガ言ヘナイト云フヤウナコトヲスルノハ、即チ其趣旨ガ丁度彼ノ砂鑛法ニ於ケルト同一ニ、此未ダ探掘セザル砂鑛ト云フモノハ、國家ニ其所有權ガアルモノデアルト云フ理由カラ產出サレナケレバ、此本法全體ト云フモノガ殆ド解スルコトガ出來ナイコトニナルダウト思ヒマス、ケレドモ是ハマア兎モ角單純ナ法理論デゴザイマスカラ、政府ノ方デサウデナイト云フ御説明ニナルノニ、私ノ方デ強テ爭フ必要ハゴザイマセヌ、兎モ角此第九條ト云フモノハ其法理論ヲ別ニ致シマスルトコロデ、實際上尙非常ナ不便ヲ來スモノデ、從ツテ此砂鑛業ノ發達ニ非常ニ妨害スルモノト信ジマスカラ、全然削除スルコトニシタイト思ヒマス

○根岸晴太郎君 私ハ原案ニ賛成ヲ表スルモノデアリマス、其理由ハ現在砂金ノ採取法ト能ク此案ガ合シテ居ル以上ハ之ヲ除クト云フコトニナレバ、地主ト砂金業者ノ間ニ利害ヲ 非常ノ變動ヲ起ス、例ヘバ今日マデ一千圓ノ採取料ヲ取ツテ居ル地主ガ、此法案ノ九條ヲ除カレルトコトニナレバ忽チ地所ノ損害ダケシカ取ラナイ、其地所ノ損害ト云フコトハ千圓ノ上ガアル所ガ五十圓デアルト云フヤウナ變動ヲ起ス、其利益ハ砂金ノ採取業者ニ與ヘルト云フコトニナツテ、今日ノ現在ノ上ニ於テ非常ノ變動ヲ法律デ與ヘルト云フヤウナコトハ餘程慎重ナケレバナルマイト思ヒマス、初メテ此法律ヲ制定シテ、サウシテ後ニ許スト云フヤウナモノナラバ、今豐増君ノ御議論ノ通りニスルモ宜カラウケレドモ、今日迄取扱ヒ來ッタモノヲ急激ニ變動サセルコトハ宜シクナイト云フ考デアリマス、

ソレカラ砂金業ノ發達ヲ害スルコトモ、決シテ心配ハナカラウト思ヒマス、地主ニ特權ヲ與ヘテ居ツテモ一定ノ期間ヲ定メテ置イテ、サウシテ地主ガ出願シナケレバ、他ノ者ノ出願ニ對シテ拒ムコトガ出來ナイダケデ、唯保證ノ上ニ於テ地主ニ砂金ガ澤山アレバ澤山ヤルト云フコトヲ許スノト許サナイトノ差ガ生ズルダケデアツテ、詰リ是ハ地主ヲ保護スルダケデ、砂金業ノ發達ヲ害スルコト云フ點ハアルマイト思ヒマスカラ、私ハ法理論ハ姑ク措イテ、現在ニ此地地主ヲ保護スルコト云フ方ヲ賛成スルデアリマス

○豐増龍次郎君 唯今根岸君ノ御説ガゴザイマシタガ、從來ヤリ來ツテ居ルノヲ變更スルト云フノハ大變所有者ノ迷惑ヲ來スコトデアリマス、現ニ取リツ、アル採取料ガ取レナイコトニナル、斯ウ云フ説デゴザイマシタケレドモ、本條ハ現在ヤツテ居ル者ニハ一向影響ガナイ、即チ是カラ新ニ願ハウトスル者ニ對スル規定デアリマス、是迄ハ所有者ノ承諾ヲ得ルトカ、即チ此砂鑛採取法ニ依テ所有者ノ承諾ヲ得ツ、來タモノハ、ソレハマア別ニナツテ居ル、是ハ新ニ即チ本法ニ依テ出願ヲシヤウト云フモノハ、更ニ承諾ヲ經ナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナルダケデアリマス、從來既ニ所有者ガ承諾ヲスル權利ヲ有シテ居ッタモノハ、ソレニ依テ相當ノ利益ヲ得テ居ルノデアル、ソレハ一向差支ナイコトニナルノデス、ソレデハ從來ヤリ來ッタコトニ付テ、今日此條項ヲ削除シテ見タカラト云ウテモ、少シモ不便不合法ト云フモノハナイ、何等ノ不都合ヲ來サナイデアリマス

○木村格之輔君 チョット質問ガアリマス、豐増君ニ唯今豐増君ノ九條ノ削除説ノ理由ニ依リマス、此砂鑛ヲ國有ト云フ御考カラ割出サレタ削除説ノヤウニ思ハレルガ、果シテ之ヲ國有ナリト御認メニナルナラバ、先ヅ基礎ノ上ニ於テ之ヲ國有ニスルト云フコトヲ定メナクテハ出來ナイモノデアラウト考ヘルデアリマスガ、ソレハドウ云フ御考デアアルカ、現ニ鑛業法ニ依リマス、鑛業法ノ三條ニ、國ノ所有トスルト云フコトヲ先ヅ定メテアリマスカラ、之ヲ國ノ所有ト定メタナラバ、或ハ第九條ヲ削除スルト云フ説モ理由ガアルカモ知レマセヌケレドモ、之ヲ國ノ所有ト定メナイデ、之ヲ削除スルハ誠ニ妙ナモノニナラウト云フ考デアリマスガ、豐増君ハ國ノ所有トスル點ニ付テハ、又此法文ヲ入レルト云フヤウナ御考デモ持テ居リマスカ、ドウ云フ御考デアリマスカ、贊否ノ上ニ於テ必要ガアリマスカラソレヲ確メテ置キマス

○豐増龍次郎君 丁度ソレハ此第二十三條ヲ讀スル際ニ申上ゲタイ積リデアリマス、丁度此二十三條ニハ鑛業法ノ三條ノ準用ガナイデアリマス、私ハ此二十三條ヲ讀スル際ニ、是ハ入レタイト云フ希望ヲ持テ居ツタ、縱令是ガ本法ノ準用ガナカッタニシタコロデ、性質上國ノ所有ニ屬スルモノト云フコトヲ土臺ニ置カナケレバ、元來國家ト云フモノハ持タナイ權利ヲ人ニ與ヘルコトハ出來ナイノデアラカラ、モウ此法律ノ趣意カラ致シマシテ、斯ウ云フ條項ガ縱ンバ入ッテ居ナクとも、當然未ダ探掘セザル砂鑛ハ國ノ所有デアルト、斯ウ云フコトニ解釋スルノガ本法ノ精神ヲ得タモノデアラウト解釋シテ居リマシタケレドモ、兎モ角此點ニ付テ鑛業法ニ規定ガアツテ、獨リ砂鑛法ダケ除クト云フコトハ不穩當デアリマスカラ、私ハ二十三條ヲ讀スル際ニシテハ、鑛業法ノ三條モ此中ニ入レタイト云フ希望ヲ有シテ居リマス

○木村格之輔君 若シ豐増君ノ御説ニ御賛成ガアリマスカラ、私ハ是ハ反對致シマス

○根岸晴太郎君 唯今豐増君ハ地主ニハ影響ヲ及ボサナイト云フコトヲ申サレマシタケレドモ、私ノ考テハ、無論地主ニ影響ヲ及ボスモノデアルト考ヘル、例ヘバ現在ノ取扱法ニ依テ此處砂金業ヲヤラウト云フ考カラ、地所ヲ買入レテアルトカ云フヤウナ者ガ、外ノ者ニ願ハレバ無論損害ヲ及ボスコトハ明カデア、又今度此九條ヲ除クトスレバ、砂鑛採取料シテ地主ニ拂タトコロノモノハ當然拂ハナクテモ宜シト云フ解釋ガ出來ルダラウト思ヒマス、若シ又期限ガアツテ期限内ハ其採取料ヲ拂フ致シマシテモ、期限ガ満期ニナツタ時分ニハ、採取業ノ許可ヲ受ケテ居ル方ノ權利デア、地主ニ對シテ採取料ヲ拂フ必要ガ無クナル、地所ノ損害ダケニ止マルト云フコトニナラウト思ヒマス、シテ見レバ現在地主ガ利益シテ居タトコロノモノハ、轉ジテ採取業者ノ利益ニナルト云フコトハ明カデア、其變動ハ幾ラ理屈ヲ何シテモ無論來ルモノデアラウト思ヒマス、飽クマデ前説ヲ主張シマス

○豐増龍次郎君 是ハ從來採掘シテ居ル所有者ニ迷惑ヲ及ボスト云フ御意見ノヤウデゴザイマシタガ、詰リ本條ハ之ニ依ツテ出願スルコトノ權利ガ新タニ出來ルデアリマスカラ、從來ノ今ノ採取料ハ取ツテ居テ、地主ノ關係ハ此條項ニ依テ何等ノ影響ヲ受ケナイデアリマス、是ハ是カラ新タニ出願スルモノ、コトナンデス、デ唯今ノ根岸君ノ御説デハ採取料ヲ取ツテ居タモノガ取レヌコトニナル云々ト云フ御話デゴザイマスガ、詰リ此本法ハ現在ノ此砂鑛採取法ト規定ヲ異ニシテ居タ、即チ權利ガ——砂鑛權ノ性質ガ異ツテ居リマスカラ、土地ノ所有者ガ採取業者ニ向ツテ即チ此砂鑛ノ採取料ト云フモノ、請求權ト云フモノヲ認メテナイ、此點カラ申シマシテモ、是ハ全ク現在ノ法律ト法律ノ根柢ニ於テ異ツテ居ル、此性質ニ於テ——ソレデゴザイマスカラ現在ノ砂鑛採取料ヲ取リツ、アルトコロノ所謂法律ノ趣意ハ、或ハ土地ノ所有者ノ所有權ノ一部デアルト云フノヲ以テ相當トスルカモ知レマセケレドモ、本法デハ決シテサウ云フ權利ヲ認メテナイノデゴザイマス、ソレヲ趣意カラ申シテモ、唯第九條ヲ存シテ置ケバ砂鑛權者ニ累ヲ遺スト云フニ過ギナイモノデアルト深ク信ズル譯ナンデス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) 如何デス、議論モ盡キタヤウデスガ……

〔採決〕ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) ソレナラバ之ヲ採決スルコトニ異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) 豐増君ノ第九條ヲ削除シヤウト云フ説ニ同意ノ人ハ……

〔贊成ガナイカラ採決スルニ及バヌ〕ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) 同意ハナイヤウデスカラ、ソレデハ原案ニ贊成者ハドウツ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(大井ト新君) 多數ト認メマス、是ハ原案ノ通りニ決シマシタ

○世良靜一君 議事ノ進行ニ付テモゴザイマスガ、逐條ニ付テ異議ガアルカナイカラ御取リニナツテハ如何デス、サウスルト進行シヤウト思ヒマスガ……

○委員長(大井ト新君) 全部ニ付テノ意見ヲ願ッタンデスガ——ドウカ修正ノアルトコロダケヲ——一括シテ意見ノアルトコロダケヲ……

○豐増龍次郎君 此十二條デゴザイマスガ、十二條ニ於テ少シ文字ダケヲ修正シタイト思ヒマス、原文ヲ讀ミマス「砂鑛權者他人ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトキハ土地所有者地上權者永小作權者又ハ土地ニ對シテ使用ノ權利ヲ有スルモノハ之ニ對シテ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得」斯ウアリマスルノ「土地ニ對シテ使用ノ權利ヲ有スル者ニ對シ相當ノ補償金ヲナスヘシ」斯ウ修正シタイ、是ハ一向趣意ヲ變ヘルノデモ何デモゴザイマセヌガ、唯本條ノ後文ガ初メハ詰リ砂鑛權者ガ土臺ニナツタ規定ノヤウデア、即チ「他人ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セントスルコトキハ」云々ト斯ウナツテ居ル、サウシテ後ノ方ニナリマスル、今度ハ土地ノ所有權、地上權者、永小作權者、若クハ土地ニ對シテ使用ノ權利ヲ有スルモノガ主トナル規定ニナツテ居リマス、使用ノ權利ヲ有スルモノハ之ニ對シテ相當補償金ヲ請求スルコトヲ得ル、斯ウナツテ居リマスカラ、是ハズット初メノ意味ニ於テ砂鑛權者ヲ主トシテノ規定ノ方ガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(磯部正春君) 十三條ノ方ハ……

○豐増龍次郎君 ソレデ十三條ハ請求權者ヲ主トスル條項ニ於テ「前條ニ依ル補償金ノ請求權ハ」斯ウ云フヤウニ變ヘマシタラ丁度同ジニナルダラウト思ヒマス

○政府委員(磯部正春君) 唯今修正ガ出タヤウデゴザイマスガ、單ニ文字ノ修正ノ積リデゴザイマスレバ、敢テ反對スルコトハ要ラナイデアリマスルガ、内容ニ於テ大分結果ガ違ッテ來ルダラウト思ヒマス「大變違フ」ト呼フ者アリ」ト言ヒマスルノハ補償金ヲ請求スルコトヲ得トアリマスカラ、北海道ノ如キ官有地ニ向ツテ砂鑛採取ヲ願出デタ場合ニハ、詰リ無料デモ貸シ得ルノデゴザイマス、斯ウナルト是非トモシナケレバナラヌコトニナリマスカラ、内容ガ違ッテ來マセウカラ原案ノ通りニ願ヒタイ

○豐増龍次郎君 私ハ強テ言フノデアリマセヌガ、サウシタ方ガ……

○世良靜一君 チョット文字ノ修正ガアリマスカラ、私モ意見ヲ申シテ置キマス、私ノハ斯ウ風ニ修正スル「土地所有者地上權者永小作權者又ハ賃借權者ハ其土地内ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトスル者アルトキハ是ニ對シテ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得」ト斯ウ變ヘタイ

○委員長(大井ト新君) ソレデハ「土地所有者地上權者永小作權者又ハ賃借權者ハ其土地内ニ於テ砂鑛ヲ採取セントスル者アルトキハ之ニ對シテ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得」ト云フコトニ、御異議ナケレバサウ決シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○豐増龍次郎君 私ハ此三十三條ニ一ノ條項ヲ入レタイ、ソレハ實ハ鑛業法ノ三條ニ入レタイガ、先キ申シタノガ削除サレヌカラ強テ主張シマセヌ、ガ更ニ此鑛業法ノ第十六條、之ヲ同ジク準用スルコト云フコトニシタイ、是ハ鑛業法ノ十六條ハ即チ「鑛業權ハ不可分トス」斯ウ云フ條項ニナツテ居ル、デ此「砂鑛權モ不可分トス」斯ウ云フ意味ニシタイ、之ニ付テハ政府ノ方デモ御異議ガナイノデ、砂鑛權ガ不可分ト云フコトハ性質上疑ガナイカラ認メルト云フ御説明ニナツテ居ル、然ルニ此鑛業法ニハ明カニ不可分ト書イテアツテ、サウシテ本法ニハ例ヘバ性質上不可分トシタ所ガ——同ジ鑛業法ハ澤山他カラ準用シテアルニ拘ラズ、之ヲ準用シナイト、反對解釋トシテ或ハ不可分ト云フ

コトニ疑フ生ズルノデアル、是ハ同ジク十六條モ準用スルト云フコトニシテ置イタ方が、法律ノ體裁カラ言フテモ、或ハ將來ニ疑惑ノ起ラナイ點カラ云フテモ相當ト思ヒマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) ドウデスカ、御意見ハアリマセヌカ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○委員長(大井ト新君) ソレデハ左様決メマス、次ニ其次ドウカ……

○世良靜一君 私ハ第一一條ニ入レテ貴ヒタイモノデアル、彼所ニ鐵ノ鑛滓ト云フモノガ澤山アリマス、是ハ農商務省デハ御承知デゴザイマセウガ、緒花ト云フ博士ガ其鐵ノ鑛滓カラ製煉スルト立派ナ鐵ガ出來ルト云フコトヲ發明ニナリマシテ、却テ瑞典ノ鐵ヨリモ

賈イト云フ成績ヲ擧ゲテ居リマス、ソレデ第一一條ニ鐵ノ鑛滓ト云フモノヲ一ツ加ヘテ貴ヒタイ

○政府委員(磯部正春君) 今ノ御話ハドウ云フ風ノ状態ニナッテ居ルカ、私一向存シマセヌガ、此所ニ金鑛ノ廢鑛鑛滓ヲ砂金ト同一ニ見做スト云フノハ、金鑛ノ廢鑛鑛滓ハ總テ砂金ト云フ趣旨デハナイノデ、金鑛ノ廢鑛鑛滓デアッテ普通ノ場合デ言ハバ鑛滓ガ河ノ流ニ流レテシマフ、普通砂金ト同ジヤウナモノヲ指シテ居ルノデ、山ニ鑛滓トシテアルモノハ含シテ居ラナイノデアリマス、今ノ御話ノ廢鑛鑛滓——鐵ノ鑛滓ト云フノハドウ云フ風ニナッテ居ルカ知リマセヌガ、若シ土地ニ附隨シタモノデ廢鑛ガ役ニ立ツタメニ、土地ニ價アルト云フノデアルナラバ、即チ鑛滓トシテ特ニ賣買ノ出來テ居ルモノデアレバ、ソレハ其人ノ私有物デアリマスカラ……

○武滿義雄君 今質問デスカ

○委員長(大井ト新君) 今質問ヲ了ハリマシテ討論ニナッテ居リマス

○武滿義雄君 私ハチヨット御伺ヒシテ置キタイノデスカ、砂金ノ存在状態、ソレヲ知ッテ居ラル、限り御話ヲ承ッテ置キタイノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 此處ニ書イテアリマスル砂金ノ存在廢鑛々々存在——

○武滿義雄君 砂鑛ノ存在状態、ドコニドウシテドウ云フ風ニアルカ、是レ——ガ砂鑛デアルト云フ存在状態デヤ、地上ニアルモノハドウ、地中ニアルモノハドウト云フコトニ付テ、知ッテ居ラル、ダケノコトヲ事實ニ付テ御話ヲ承リタイ

○政府委員(磯部正春君) 砂鑛ノ存在状態ト云フコトニ對シテハ、一々是レ——ト云フコトハ御話シ出來ナイカモ知レマセヌガ、併シ此處ニ書イテアリマスル砂金ハ、普通ドウ云フ状態カト云フコトヲ御話スレバ、御答ニナルダラウト思ヒマス、砂金存在ノ有様ハ必ズシモ一定シテ居ラヌデアリマシテ、所ニ依ッテ違フデアリマス、北海道ノ如キ所ハ五尺モ六尺モ深く地下ニ密集シテ居ルト云フノモアル、又ハ地下僅カノ間ニアルノモアリマシテ、所ニ依ッテ存在状態ト云フモノハ多少ノ相違ハアリマス、併シ大体ヲ通シマシテ此砂金ト申シマスルモノハ川床トカ、或ハ地中トカニ層ヲ爲シテ混在シテ居ルノデス、此處ニ書イテアリマスルハ金鑛ノ廢鑛鑛滓ノ多イ場合ニハ川ニ流レテ居ル、川ノ中ニ普通ノ砂金ガ流レテ居ル、ソレト似タモノハ砂金ト見做スト云フヤウニ想像シテ書イテアルノデス

○武滿義雄君 山ノ中ニ入ッテ居ルノハ深カラウガ淺カラフガ、層ヲナシテ居ルモノハ砂

金デアルト斯ウ仰シタルノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 山ノ中ニアッテ鑛脈ヲナシテ居ルノハ是ハ別段ト思フノデスガ、淺イトコロデモ場合ニ依テ一間二間モ堀ッテ行ク砂金モアリマス

○武滿義雄君 スルト鑛脈ト云フノハドウ云フコトデスカ、鑛脈ト云フモノハ其以外ノモノガ砂鑛状態デアルカラ……

○政府委員(磯部正春君) 詰リ砂金ト云ハバ鑛脈ノ状態ヲ爲シテ居ルノデ、風化作用ニ依テ分解サレテ金分ガ流レテ出ル、斯ウ云フノガ砂金ト思ヒマス

○武滿義雄君 スルト深カラウガ淺カラウガ、今ノ状態ヲ呈シテ居ルノハ砂金デヤト仰シタルノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 左様デス

○世良靜一君 私ハ一般的ニ一ツ修正ヲ願ヒタイノデアル、主務大臣ト云フコトガアルガ、是ハ行政官廳デスカラ必ズシモ主務大臣バカリデナイ、アレハ主務官廳ト云フ文字ニ御修正ヲ願ヒタイ

○政府委員(磯部正春君) 是ハ農商務省ダケノコトデスカラ……

○委員長(大井ト新君) 如何デスカ、外ニ修正スル所ハアリマセヌカ、武滿君ドウデスカ

○武滿義雄君 アッタ所デモウ濟ンダ後デハ……

○世良靜一君 第五條デモウ一ツ修正ヲ願ヒタイ「砂鑛區鑛區ト重複スル場合」トアリマスガ、砂鑛區ト鑛區ト抵觸スル場合ト、砂鑛ガ又鑛區ニ抵觸スル場合ガアルト思ヒマスカラ、砂鑛區及鑛區互ニ重複スルト云フコトニ修正シタラ意味ガ明瞭ダラウト思フ

(「是デ分ル」「是ノ方が宜イ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大井ト新君) 如何デスカ、モウ御異議ハアリマセヌカ、モウ御異議ハナイモノトシテ、十二條ト二十三條ヲ修正シタ外ハ原案ノ通り決シマス——次ハ登録稅法ヲ議シマス、如何デスカ此登録稅法ハ別ニ御異議ハ無イデスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大井ト新君) 然ラバ是ハ原案ニ決シマス、是デ散會致シマス

午後二時五十一分散會